

留 学 報 告 書

記入日:2019年6月24日

所属学部／研究科・学科／専攻	国際日本学部
留学先国	台湾
留学先高等教育機関名 (和文及び現地言語)	和文: 国立台湾大学 現地言語: 國立臺灣大學
留学期間	2018年9月～2019年1月
留学した時の学年	2年生(渡航した時の学年)
留学先での学年	1年生(留学先大学で在籍した学年)
留学先での所属学部等	文学部歴史学科 <input type="checkbox"/> 特定の学部等に所属しなかった。
帰国年月日	2019年1月18日
明治大学卒業予定年	2021年3月
留学先大学について	
形態	<input checked="" type="checkbox"/> 国立 <input type="checkbox"/> 公立 <input type="checkbox"/> 私立 <input type="checkbox"/> その他
学年暦	1学期:9月～1月中旬 2学期:2月～6月 3学期:二学期制のためなし (記入例/1学期:4月上旬～7月下旬, 2学期:9月中旬～2月上旬)
学生数	約3万
創立年	1928年

留学費用項目	現地通貨 (NTD)	円	備考
授業料	0	0円	
宿舍費	40000	150000円	
食費	40000	160000円	
図書費	3000	12000円	教科書代
学用品費		円	
教養娯楽費	15000	60000円	交際費、サークルの会費等
被服費	2000	8000円	
医療費	0	0円	
保険費	12500	50000円	形態:大学指定保険
渡航旅費	12500	50000円	
雑費		円	
その他	5000	20000円	健康診断費用
その他	2500	10000円	ビザ申請費用
その他		円	
合計	132500	約520000円	



渡航関連

渡航経路:羽田～台北松山空港

渡航費用

チケットの種類 エコノミー
 往路 _____
 復路 _____
 合計 _____ 5 万円

渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。

旅行比較サイトがいろいろあるので飛行機の手配には困らないと思います。
 エバー航空はエコノミーでも 30kg まで無料で預けられるのでおすすめです。

滞在形態関連

1)種類(留学中の滞在先)(例:アパート、大学の宿舎など)

大学の寮

2)部屋の形態

個室 OR 相部屋(同居人数)

3)住居を探した方法:

台湾大学に留学の申し込みをする際に寮の申し込みもしました。

4)感想:(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)

日本に比べたら貧相に違いないのですが、十分生きていけるレベルの部屋だと思います。入寮してすぐに寝具や身の回りのものを買う必要があるので、多めに日本円を空港で両替しておくべきだと思います。私の場合は約 6000 元入寮日に使っていました。

現地情報

1)現地で病院にかかったことはありますか? 大学内の医務室/診療所や付属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか?

利用する機会が無かった
利用した:

2)学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。

台湾人の友達、日本人の友達
 留学生向けの相談は受け付けていた

3)現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

台湾の治安は比較的良いのですが、一人では夜外出歩かないこと、もし夜外に出なければならぬのなら複数人で移動することを心がけていました。買い物時はスリ等に合わないよう前にかけるタイプの小さいポシェットを使っていました。

4)パソコン、携帯電話、インターネット(接続について)現地での利用はいかがでしたか。

(例:寮のインターネット接続が不安定で1週間に1度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

寮の個人部屋には WIFI はありません。パソコンは有線ケーブルを使ってインターネットにつながることが出来ます。(寮費に接続費込み)このことを考慮に入れて SIM を選ぶべきだと思います。大学構内は WIFI があります。

5)現地での資金調達はどのように行いましたか? (例:現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

デビットカードと現金を両替したもので十分でした。日本で両替するとレートが悪いので、台湾の空港で両替するべきです。

6)現地では調達できない日本から持っていきべき物があれば教えてください。

だいたい日本のものは台湾で買えますが、割高です。

博客来というオンラインショッピングのサイトはコンビニで支払いと受け取りが出来るので便利です。試してみてください。

7)【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。(例:渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った、渡航前に留学先大学から指示があった、渡航後のオリエンテーションで支払いに関する案内があった等)

卒業後の進路について

1) 進路
<input checked="" type="checkbox"/> 就職 <input type="checkbox"/> 進学 <input type="checkbox"/> 未定 <input type="checkbox"/> その他:
2)進路決定の際に参考にした資料、図書、機関など
3)就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。(内定を得た企業すべての名前、或は入社すると決定した企業の名前のみでも構いません) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。
貿易関係の仕事
4)就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。 (例:留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。) ※1～3年生で、就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。
留学する前は漠然と海外で働くのもいいな、そうだったらいいなと考えていましたが、生半可な気持ちでは海外で生活するのは難しいと考えるようになりました。 それでも東アジアの国に関わる仕事をしたいと思い、現地に子会社・工場を持つ企業に就職したいと考えています。
5)進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。
6)進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。
7) その他を選択した方は、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入してください)

1)留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
15 単位	<input checked="" type="checkbox"/> 15 単位 <input type="checkbox"/> 単位認定の申請はしません(理由:)
2)以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
General Chinese Language Course I	普通中国語
科目設置学部・研究科	
履修期間	半年
単位数	3
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1 週間に 100 分が 3 回
担当教授	
授業内容	中級中国語コース
試験・課題など	一課が終わるごとにテスト、新出単語を取り扱ったら声調・漢字のテストと、毎回テストがありました。中間期末テストは筆記・リスニング以外にも、先生と 1 対 1 で話す試験がありました。
感想を自由記入	毎週 3 回あるため、集中的に中国語が学べて良いと思います。最初のクラス分けテスト(筆記、スピーキング)で成績順に分けられます。授業は中国語で行われ、発言も中国語なので力がついたと感じます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Chinese Enhancig Course I		中国語	
科目設置学部・研究科			
履修期間	半年		
単位数	1		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 2 回		
担当教授	Zeng Rong-yu		
授業内容	上記の授業とほぼ変わりません。教科書は別のものを使います。上記の授業と個の授業の2つを履修するか、前者のみ履修するか選べます。		
試験・課題など	新出単語があればピンイン・声調・漢字のテスト。パワーポイントを使って発表(暗記)。中間期末テスト(筆記のみ)。		
感想を自由記入	早口でおしゃべり好きな先生で最初は慣れませんでした。徐々に話を楽しめるようになりました。生徒同士で話し合う時間も多クスピーキング力の向上に役立ったと思います。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Chinese Folktales For International Students		留学生のための中国説話	
科目設置学部・研究科			
履修期間	半年		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回		
担当教授	Lin Yin-chun		
授業内容	教科書に基づいた中国故事を学ぶ。授業は中国語で行われる。		
試験・課題など	中間期末テスト(筆記):教科書からの内容のみ パワーポイントを使って母国の故事について発表 ときどき内容に関してショートエッセイの課題		
感想を自由記入	正規留学生(4 年間に在籍する人)も履修していて、中級の私には少しレベルが高かったです。しかし中間期末テストは簡単でした。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):		履修した授業科目名(日本語):	
Exploring Taiwan: Film and Social Culture in Taiwan		台湾探検:台湾の映画と社会文化	
科目設置学部・研究科			
履修期間	半年		
単位数	2		
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)		
授業形態	講義+学生の発表(チュートリアル, 講義形式等)		
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回		
担当教授	Kuo Jen-feng		
授業内容	台湾の映画を通して社会文化について学ぶ		
試験・課題など	中間期末レポート(英語か中国語で):映画を見て自分の意見、分析を書く。		
感想を自由記入	台湾の映画には触れたことが無かったので興味深かったです。Kuo 先生は履修の抽選にもれても、履修できるように専用の紙を渡してくれます。抽選に落ちてても、この授業と下記の授業は履修できる可能性があるため、初回授業に行ってみてください。		

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Exploring Taiwan: Women and Taiwanese Society	台湾探検:女性と台湾社会
科目設置学部・研究科	
履修期間	半年
単位数	2
本学での単位認定状況	2 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 100 分が 1 回
担当教授	Kuo Jen-feng
授業内容	台湾の女性史を当時の社会状況と関連付けながら学ぶ
試験・課題など	中間期末レポート(英語か中国語で):台湾に滞在したことのある女性について/台湾で起こった事件についてなど
感想を自由記入	台湾の社会の歴史は全く知らなかったが、映像資料を使って分かりやすく学ぶことが出来ました。レポートは大変でしたが、明治で受けたレポートの書き方の授業で習ったことを実践できたと感じます。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Introduction to English Presentation	英語でのプレゼンテーション入門
科目設置学部・研究科	
履修期間	半年
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	講義(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 150 分が 1 回
担当教授	Kevin Kau
授業内容	英語でのプレゼンテーションを実践しながら学ぶ
試験・課題など	5 回ほどのプレゼンテーション(グループ内で)スクリプトの提出
感想を自由記入	講義とプレゼンを交互に行う形式です。先生の英語は聞き取りやすく、授業もわかりやすかったです。グループを作ってプレゼンをするので他の台湾人の生徒と友達になれました。

履修した授業科目名(留学先大学言語):	履修した授業科目名(日本語):
Service Learning of International Companions for Learning (ICL)	
科目設置学部・研究科	
履修期間	半年
単位数	2
本学での単位認定状況	0 単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	スカイプで小中学生と英語で会話(チュートリアル, 講義形式等)
授業時間数	1週間に 40 分が 2 回
担当教授	Jiun Huei wu
授業内容	ボランティアに近い活動です。スカイプを通して台湾の田舎に住む小中学生と英語で会話をし、文化交流をします。パワーポイントを作って、母国の文化などを紹介します。交流が目的なので、あまり英語の優劣は問いません。小学生と交流する際は、あまり英語が理解できないので、台湾人のパートナーが中国語に訳していました。留学生一人に台湾大学の学生がひとりつきます。実施時間は自分の都合のいい時間が選べます。また、1 校もしくは 2 校担当するのかが選べます。私は 2 校担当しました。
試験・課題など	スカイプしたときの写真や、使った資料、内容の短い要約・感想の提出
感想を自由記入	どんなことを小中学生に伝えるかは留学生に完全に委ねられているので、その点は自由です。しかし毎週の準備は意外に大変でした。学期の終わりごろに担当する学校に訪問することが出来ます。(交通費・宿泊費の学生負担なし)私は金門島を訪問しましたが、とても貴重な体験でした。もう 1 校は台北にある学校でした。一緒にスポーツをして子供たちと楽しく交流できました。ただし、明治での単位認定は難しいため、それでも履修するか考慮すべきだと思います。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。例：語学試験の勉強、選考、出願、留学中の中間試験，期末試験，その他イベント等

2017年 1月～3月	
4月～7月	入学、留学について調べ始める
8月～9月	中国語勉強
10月～12月	HSK3,4 級合格 留学選考面接
2018年 1月～3月	
4月～7月	
8月～9月	留学開始
10月～12月	中間テスト 金門島訪問(ICL)
2019年 1月～3月	期末テスト 帰国
4月～7月	
8月～9月	
10月～12月	

留学体験記

留学しようと決めた理由	高校生のころから漠然と留学したいとは考えていました。現在英語は出来て当然のものになっています。しかし、英語という一面から世界を見ることでは不十分だと考え1年次に中国語を学び始め、中国語圏に目が向きました。費用面でも学習面でも条件が一致した国立台湾大学の協定留学を決めました。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	中国語力の向上です。台湾大学へは TOEFLibt や HSK の比較的低い点数、級で学内選考に応募することができますが、生活のベースは中国語を使うので英語だけで乗り切るのは大変だと思います。日本人は漢字の知識があるので、非漢字圏の人と一緒に初級の授業を受けるのは非効率的だと感じます。中国語をしっかりと学んだ中級以上の人が留学した方が良いと考えます。
この留学先を選んだ理由	英語と中国語両方を使って授業が受けられるためです。国際日本学部独自のディズニーでのインターンシップに参加しようかとも考えましたが、学術的なことも学べる点・英語だけでなく中国語も学べる点から台湾大学を選びました。
大学・学生の雰囲気	南国らしくゆったりとしています。台湾随一の大学であるだけに勉学にしっかりと取り組む学生が多いです。第二外国語として日本語を学習している学生も多いので、簡単な会話や宿題の手伝いをすることもありました。
寮の雰囲気	水源宿舎 A 棟は個室の女子のみなので、皆独立して活動していると感じました。一方寮主催のヨガ教室や料理教室があったりと交流もありました。中間・期末テストの前やイベントごとには無料で食べ物が振舞われたので助かりました。
交友関係	留学生をサポートしてくれるボランティアの女の子と仲良くなって、毎週決まった時間について中国語の宿題を見てもらったり、会話練習の相手になってもらったりしました。また、同じ授業を履修している人と友達になってご飯に連れて行ってもらったり、一緒に遊びに行ったりしました。会った人と関係を深めようと努力したり、話しかけたりと関係を発展させるだけで留学がより良いものになるので友達をどんどん作っていくべきだと思います。
困ったこと、大変だったこと	文化の違いと食の違いです。日本では「おもてなし」と言われるようにお客様第一が当たり前ですが、台湾ではスマホをいじりながらの接客も多くずっと日本で暮らした身としては驚きました。また、台湾は美食が多いとも言われますが、観光はともかく日常的に食べるご飯は台湾人の口に合うものなので油っぽかったり、独特な調味料が使われていたり慣れないことがありました。
学習内容・勉強について	英語で行われる授業は、留学生向けのもが多く、内容も台湾を理解するのに役立ちます。中国語の授業は中国語のみで行われ、最初は戸惑いました。しかしだんだんと慣れてリスニング力・スピーキング力が向上したと感じます。
課題・試験について	中国語の授業は平日毎日ありましたが、毎日宿題がありました。基本的には新出単語の暗記や予習です。ひとつの課が終わると必ず小テストがありました。そのため日々テスト漬けのような状態でした。パワーポイントを使った発表が2回ほどありました。英語で行われる授業はレポート形式で中間期末と課題が課されました。詳しくは各授業の欄を参照してください。

<p>大学外の活動について</p>	<p>中国の琴を弾くサークルに所属しました。現地の大学生もいれば、留学生もいました。学期の最初のころにサークルがテントを出して勧誘活動をする期間があったので、そこで自分に合った団体を探すといいと思います。 大学での勉強だけでなく、台湾にいる利点を生かしていろいろな場所に行ってみるのもいいと思います。台南・金門島・香港・マカオなどを訪問しました。気を張らずに楽しむことも大切だと感じます。</p>
<p>留学を志す人へ</p>	<p>大学の協定留学制度や、補助金の制度を使えば、決して無理のない範囲の金額で国立台湾大学に留学できます。私は留学で卒業を伸ばしたくありませんでした。現地で単位を十分に取得して、期間が半年間ならば留年する心配もないと思います。何かを犠牲にして留学するのは美談になります。しかし、お金や時間を犠牲にしなくても留学できる環境が明治大学にはあります。 学生の間には一回は海外に出て経験を積んだ方がいいのではないかと考えます。その中の選択肢として留学はあります。自分に合った留学先・形態を見つけて、積極的に留学してください。</p>

一週間のスケジュール(例)

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日	日曜日
午前中	中国語	中国語	中国語	中国語	中国語	自習	
	授業	授業	自習	自習	言語交換	自習	
午後	授業	授業	スカイプで 交流活動	自習	自習		
	自習	自習	自習				
夕刻	自習	サークル	サークル				
夜		サークル	サークル				

